



●支部だより

あかいや通信

2024.3 No. 42



北陸支部通常総会

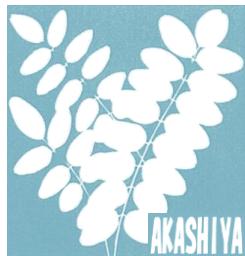
けんせつフェア北陸2023in金沢

道路除雪オペレータ実態調査

一般社団法人 日本建設機械施工協会北陸支部



昭和40年代に活躍した散布車(トラックミキサ車類似構造)



●支部だより

あかしや通信

2024.3 No. 42

目次/Contents

支部長あいさつ	1
1. 北陸支部通常総会	2
2. 建設技術報告会	5
3. けんせつフェア北陸2023in金沢	6
4. 2024 ふゆトピア・フェアin北広島	8
5. 除雪機械安全施工技術講習会	10
6. I C T 活用講習会（実践者・入門者クラス）	12
7. 道路除雪オペレータ実態調査	14
8. 地方自治体等への除雪講習支援	16
9. JCMA 現場見学会	17
10. 外国人技能評価試験	18
11. i-Construction施工説明者試験・更新講習	19
12. 能登半島地震支援	20
13. JCMA 親睦ゴルフ大会	21
14. 令和5年度支部行事一覧	22
15. お知らせ	28
16. 会員情報（令和5年度 新入会員）	29

【支部長あいさつ】

北陸支部 支部長 丸山 晉彦
(長岡技術科学大学 名誉教授)



日本建設機械施工協会北陸支部の会員の皆様には、日頃から建設分野の機械化、生産性向上にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の令和5年5月8日において、令和2年から続いている新型コロナウイルス感染症の位置づけが、これまで2類相当のインフルエンザ等感染症としていましたが、厚生労働省から「5類感染症」と発表されたことから、マスクの着用は個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断となり、業務等の執行において従来どおりにできるようになったのではないかと判断しております。

また、気象庁から昨年の春は海面水温が通常より高い傾向で、エルニーニョ現象と発表されました。この現象から偏西風が日本付近で北に蛇行し、寒気が南下しづらくなり冬型の気圧配置が長続きしないため、今年の冬期は温暖化で降雪量も少ない傾向が続き、スキーフィールドは多大な痛手となっている中、新年を迎えた1月1日16:10にマグニチュード7.6の能登半島地震が発生てしまいました。この地震により多くの人的被害や住居被害が発生し、被災地の一日も早い復旧・復興を祈る気持ちと再建に向けた協力を買っていかなければならぬものと考えております。

さらには地域経済の活性化や地域の安全・安心に向けた取り組みも重視していかなければいけないものと考えております。

このような中で、昨年度からコロナ前と変わらない支部通常総会を実施しておりますが、皆様相互の情報収集が今後における地域貢献につながるものと考えております。

さて、建設業の日々の課題として、人口減少・少子高齢化、気候変動への対応など上げられており、北陸支部で実施しました「道路除雪オペレータ実態調査」においても、高齢化が急速に進展し、平年並み降雪でも3割がオペ不足と言われています。

この結果から、将来の除雪体制の確保のためには、担い手確保・育成に関する取り組みを一層推進する必要があります。

最後となりますが、事業を着実に遂行するため会員皆様のご指導、ご協力を引きつづきお願い申し上げます。

北陸支部通常総会



第12回 通常総会

総 会

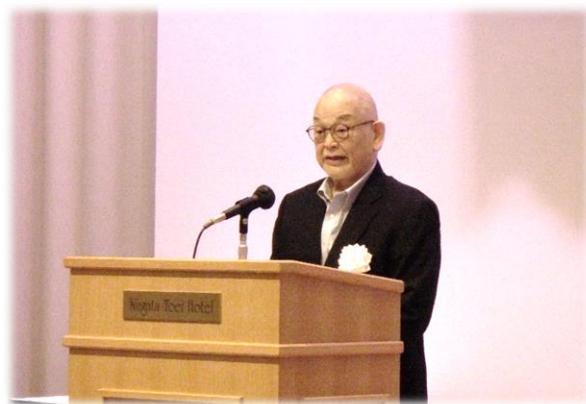
令和2年4月に発令された新型コロナウイルス感染症から、令和2~3年度の支部総会は小規模開催（議長、運営委員、支部監査役、事務局）となり、令和4年度には対面会議の実施要望から通常開催されましたが、懇談会を中止し、令和5年度は「マスクの着用は個人の選択を尊重し、個人の判断」となったため、4年ぶりに懇談会を含めた支部総会を5月23日に新潟東映ホテルにて開催しました。

総会は議決権総数129社のうち出席議決数114社（うち委任状出席者61社）が出席され、上杉総務委員長の司会で進められ、丸山支部長の挨拶後に書記の任命、総会成立宣言、議事録署名人の選任を行い、議事が進められました。

議事は、第1号議案の「令和4年度事業報告」に関する件、第2号議案の「令和4年度決算報告」に関する件について上程し、異議なく承認されました。

続きまして、第3号議案の「令和5年度事業計画」に関する件および第4号議案の「令和5年度収支予算」に関する件については、3月24日に第44回本部理事会で決議された旨を報告し、異議なく報告がなされました。

その他として、協会本部の事業計画について、岩見本部事務局長からの説明が予定されていましたが、時間の都合上、丸山議長から帰社されてから目を通して頂きたい旨が説明されました。以上で議事を終了し、議長が会員に対して北陸支部の運営について、今後もご指導ご支援をお願いして無事終了しました。



丸山支部長挨拶



通常開催による総会状況

北陸支部運営委員会名簿

支 部 長	丸山 晖彦 長岡技術科学大学 名誉教授	
副 支 部 長	和田 学 新潟トランシス株 取締役	斎藤 浩之 (株)興和 代表取締役社長
運 営 委 員	植木 義明 (株)植木組 取締役社長 遠藤 聰一 遠藤鋼機株 代表取締役 市村 稔 (株)加賀田組 代表取締役社長 北川 隆明 北川ヒューテック株 代表取締役社長 横山 慶一 コベルコ建機日本株 上信越支社長 川崎 幸司 コマツカスタマーサポート株 東京関越カンパニー新潟事業部長 山本 達也 大成ロテック株 北信越支社長 河西 誠 東亜道路工業株 執行役員北陸支店長 米岡 拓彦 (株)NIPPO 執行役員北信越支店長	坂本 勝則 日本キャタピラー(同) 北信越地区営業本部長 堀 吉伸 日本道路株 執行役員北信越支店長 斎藤 弘幸 日立建機日本株 新潟支店長 野口健太郎 (株)日の出自動車 代表取締役 山田 和司 福田道路株 執行役員新潟本店長 田野 克裕 北越工業株 執行役員生産調達部長 近藤 淳 (一社)北陸地域づくり協会 理事長 真柄 卓司 真柄建設株 代表取締役社長

永年会員・永年役員表彰、優良建設機械運転員・整備員表彰

● 永年会員表彰

北陸支部団体会員	会 社 名	
会員期間60年	(株)三友組	(株)植木組
	(株)NIPPO北信越支店	(株)加賀田組
	(株)日の出自動車	丸運建設(株)
	北国テクノ(株)	宮口建設(株)
	コマツカスタマーサポート(株)東京関越カンパニー	コベルコ建機日本(株)上信越支社
	新潟トランシス(株)新潟営業所	遠藤鋼機(株)
	日本道路(株)北信越支店	東亜道路工業(株)北陸支店
	真柄建設(株)	射水工業(株)
	北越工業(株)	大成ロテック(株)北信越支社
	鉄建設(株)北陸支店	株佐藤渡辺北陸支店
会員期間50年	鹿島道路(株)北陸支店	千代田機電(株)
会員期間30年	日本サミコン(株)	長栄工業(株)
会員期間20年	(株)ニットク	—

● 永年役員表彰(7年以上)

(敬称略)

氏 名	会社名・役員名
池野 正志	(株)興和 代表取締役会長



本部事務局長の表彰及び記念撮影

通年、永年会員・永年役員表彰、優良建設機械運転員・整備員表彰は通常総会時に合わせて実施しており、上杉総務委員長の進行を基に実施しました。

永年役員表彰では池野正志(株)興和代表取締役会長の1名が表彰され、永年会員表彰は会員期間60年においては、今年度多くの企業18社が表彰され、会員期間50年が4社、会員期間30年が2社、会員期間20年1社が表彰されました。

更には会員各社から推薦された優良建設機械運転員10名、整備員1名様に表彰状と記念品が授与されました。

● 優良建設機械運転員・整備員

(敬称略)

種 別	氏 名	所 属
運 転 員	落合 実佐男	世紀東急工業(株)
"	関 慎太郎	株種村建設
"	外山 雅志	日本道路(株)
"	真保 孝之	福田道路(株)
"	鈴木 孝司	(株)北越トラスト
"	仙田 辰也	北陸保全工業(株)
"	須藤 貴志	丸運建設(株)
"	井熊 善光	(株)森下組
"	岩脇 健司	道路技術サービス(株)
"	荒木 正志	北川ヒューテック(株)
計	10名	
整 備 員	清水 義光	(株)笠原建設
計	1名	



支部長の記念撮影

特別講演

表彰式の終了後には特別講演として、北陸地方整備局企画部長 池田 裕二様から「北陸地方整備局における施策について」と題して、ご講演を頂きました。

講演内容は下記に示す内容にてご講演され、協会員の関連企業におかれましては、真剣に聴講されておりました。



北陸地方整備局池田企画部長講演状況

■講演概要

- | | | | | | | |
|--|---|---|---|-------------------------------|--------------------------|------------------|
| I. 国土交通省および北陸地方整備局の予算概要
防災・減災、国土強靭化のための5ヵ年加速化対策
北陸圏広域地方計画と社会資本整備重点計画 | II. 地域づくり
1. 安全で安心な地域づくり
・管内の流域治水プロジェクト
2. 活力、成長力のある地域づくり
・日本海沿岸東北自動車道
・新潟山形南部連絡道路
・国道49号 水原バイパス
・新潟東西道路
・国道289号 八十里超
・国道17号 六日町バイパス
・国道470号 輪島道路(Ⅰ期・Ⅱ期)
・上越魚沼地域振興快速道路
・国道8号 柏崎バイパス | 3. 魅力あるまちづくり・豊かな地域づくり
・新潟駅周辺地区の整備
・新発田市月岡温泉街の魅力向上
・信濃川やすらぎ堤かわまちづくり
・長岡市のコンパクトなまちづくり
・千曲川北信5市町かわまちづくり
・国営越後丘陵公園の整備
・妙高市中心市街地の整備 | III. 災害対応
・北陸地方整備局の防災体制
・TEC-FORCEの活動内容 | IV. 社会資本の老朽化対策
・高齢化が進む社会資本 | V. 建設業における担い手確保に向けた働き方改革 | VI. インフラ分野のDXの推進 |
|--|---|---|---|-------------------------------|--------------------------|------------------|

懇談会

通年、総会表彰式および特別講演の終了後には、懇談会が実施されております。

懇談会には、来賓を代表して岩見本部事務局長様から挨拶を頂き、永年会員でおられます（一社）北陸地域づくり協会の近藤理事長から乾杯のご発声で開始されました。

通常総会の懇談会は久しぶりに実施したため、皆様から喜んでいただけたものと思います。また、懇談会の中締めは、副支部長でおられます（株）興和の齋藤代表取締役社長に締めて頂きました。



乾杯発声の近藤運営委員・中締めの齋藤副支部長

建設技術報告会



建設技術報告会の開催概要

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るために、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術・新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に開催されているものです。当北陸支部は主催構成機関として、運営しています。

今回は令和4年度と同様にオンデマンド配信（Webビデオ放映）とされ、令和6年1月10日～1月31日までの土日を含む22日間とされました。昨年度は14日間でありましたが、意見を反映し終日視聴可能となり、視聴期間も長くなりました。

報告会の聴講募集期間に応募定員1,000名で、令和4年度より約2割聴講者が増えており、関心があるものと推測されます。

発表課題は21題となり、①i-Constructionによる生産性向上、インフラ分野のDXが8題と最も多く、②社会资本の的確な維持管理・更新が6題、③雪に強い地域づくり2題、④自然災害からの安全確保1題、⑤環境保全と創造2題、⑥その他2題となりました。

当協会の会員からの発表は、福田道路(株)2題、東亜道路工業(株)2題、世紀東急工業(株)1題、佐藤工業(株)1題、真柄建設(株)1題、(株)興和2題で計9題の発表がありました。

令和5年度 建設分野の新技術・新工法の報告会

建設技術 報告会

開催期間
令和6年
1月10日～31日

オンデマンド配信

～建設分野に関する新技術・新工法などを発表します～



聴講者募集

昨年度に引き続き、オンデマンド配信にて実施します。

令和5年
募集期間
11月20日～1月9日
令和6年
募集定員
1,000名

聴講
無料

本報告会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPD S)認定プログラム対象です。また、(一社)建設コンサルタント協会CPD(継続教育)は、受講証明書を発行します。【CPDS:4ユニット CPD:4.36単位】

主催 北陸地方建設事業推進協議会 令和5年度「建設技術報告会」実行委員会
北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／福井県
東日本高速道路(株)新潟支社／中日本高速道路(株)金沢支社
(一社)日本建設業連合会北陸支部／(一社)日本道路建設業協会北陸支部
(一社)日本建設業連合会新潟支会／(一社)新潟県建設業連合会／(一社)石川県建設業協会
(一社)建設コンサルタント協会北陸支部／(一社)日本建設機械施工協会北陸支部／(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会
(一社)ブレリストレス・トヨクリート建設業協会北陸支部／(一社)北陸地質調査業協会／(一社)新潟県防雪技術協会
(一社)新潟県建設技術センター／(一社)日本建設機械施工協会北陸支部／(一社)北陸PC防雪技術協会／(一社)新潟県立演習施設北陸事務所
(一社)北陸地震づくり協会／(一社)本橋愛建設協会北陸事務所

申込は こちら <https://www.kensetsu-houkokukai.info>

北陸地方建設事業推進協議会 令和5年度「建設技術報告会」実行委員会

(国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所内)

担当：技術情報管理室（新潟支局）、施工課、技術活用課、技術活用課

Tel: 026-231-8036 E-mail: houkokukai-hokugi@rtr.mlit.go.jp

No.	テーマ	報 告 論 文	発表会社名	支部会員
1	①	ダムコンクリートの高速運搬技術「SCプレミアムベルコン」	清水建設(株)	
2	①	ダム工事を一元管理するダム統括管理システムの開発	前田建設工業(株)	
3	①	新潟空港の埋立護岸空洞化要因の特定手法について	新潟港湾・空港整備事務所	
4	①	山岳トンネルの鏡吹付け管理システムの開発	鹿島建設(株)	
5	①	橋梁リニューアル統合管理システム「OBRIS」の開発	(株)大林組	
6	①	法面工を対象とした、モバイル端末による高精度3D地上写真測量の試行	(株)興和	○
7	①	土質定数推定システム「サウンディングAI」	五洋建設(株)	
8	①	音響カメラ搭載型ROV	(株)本間組	
9	②	コンクリート床版用橋面舗装の端部防水工法	福田道路(株)	○
10	②	「塩分吸着剤」を添加した交換可能な成型パネルの接合による塩害抑止工法の開発	(株)福田組	
11	②	防水および塩分吸着性能を兼ね備えた薄層表面処理工法『CAMシールNEOプラス』	東亜道路工業(株)	○
12	②	積雪寒冷地に対応したひび割れ抑制舗装技術	福田道路(株)	○
13	②	大深度消雪井戸における、VP管による二重ケーシング施工のためのソケット開発	(株)興和	○
14	②	改築推進であるベルリプレイス工法を用いた水道管(ダクタイル鉄管)への適用	真柄建設(株)	○
15	③	スタック車両における『緊急脱出用具』の試行導入に向けた、フィールド試験結果の報告	北陸雪害対策技術センター	
16	③	凍結抑制型音響道路-メロディザペックについて	世紀東急工業(株)	○
17	④	両津港の定期航路安定を目指した耐震改良設計	新潟港湾空港技術調査事務所	
18	⑤	散布型路上表層再生工法『エリクサー・シール』	東亜道路工業(株)	○
19	⑤	CO2固定型コンクリートの消波ブロック適用に向けた検討	(株)不動テトラ	
20	⑥	自己充填覆工構築システムの開発	佐藤工業(株)	○
21	⑥	石川県における建設業の働き方改革の推進について ～いかわ週休2日工事・ICTの活用等～	石川県	



けんせつフェア開催の概要

建設事業は、人口減少・高齢化、自然災害の頻発・激甚化、国際競争力の強化、環境への対応といった課題に対応しながら、地域住民の理解と協力のもと、既存社会資本の有効活用、技術開発によるコスト縮減等が求められ、安心で暮らしやすい社会の実現や美しい国づくりを目指して一層の推進が求められています。

けんせつフェア北陸は産・学・官の優れた新技術・新工法を一同に集め、建設技術者の技術の研鑽・高揚並びに技術情報の交流の場とし、一層の高度化や広範囲な技術開発へつなげるために開

催されています。北陸の開催は、新潟・富山・石川県の3県で実施されおり、今回の16回目は石川県産業展示館4号館で開催されました。

本フェアは、令和5年10月4日～5日の2日間で行われ、「安全・安心」、「自然・文化」、「連携・活力」の3テーマにより展示募集を行い、166出展者から431技術の申し込みとなりました。今回の開催でキャッチフレーズは『インフラDXが明日を変える』に設定されたことから、展示技術の3割以上にあたる139技術（70出展者）がインフラDXの関連技術の展示でした。



主催挨拶:信太実行委員長
(北陸地方整備局企画部長)



主催挨拶:遠藤北陸地方整備局長



来賓挨拶:大臣官房技術調査課
森川施工企画室長



「けんせつフェア北陸2023in金沢」の実行委員会(構成機関・団体)

国土交通省 北陸地方整備局

新潟県／富山県／石川県／新潟市／金沢市

東日本高速道路(株)新潟支社／中日本高速道路(株)金沢支社

(一社)日本建設業連合会 北陸支部／(一社)日本道路建設業協会 北陸支部

(一社)新潟県建設業協会／(一社)富山県建設業協会／(一社)石川県建設業協会

(一社)日本建設機械施工協会 北陸支部／(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会

(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部／(一社)建設電気技術協会 北陸支部

(一財)日本建設情報総合センター 北陸地方センター／北陸地質調査業協会

(一社)日本埋立浚渫協会 北陸支部／(一社)新潟県融雪技術協会

(一社)日本橋梁建設協会 北陸事務所

(一社)プレストレス・コンクリート建設業協会 北陸支部

北陸PC防雪技術協会／(一財)新潟県建設技術センター／(一社)北陸地域づくり協会



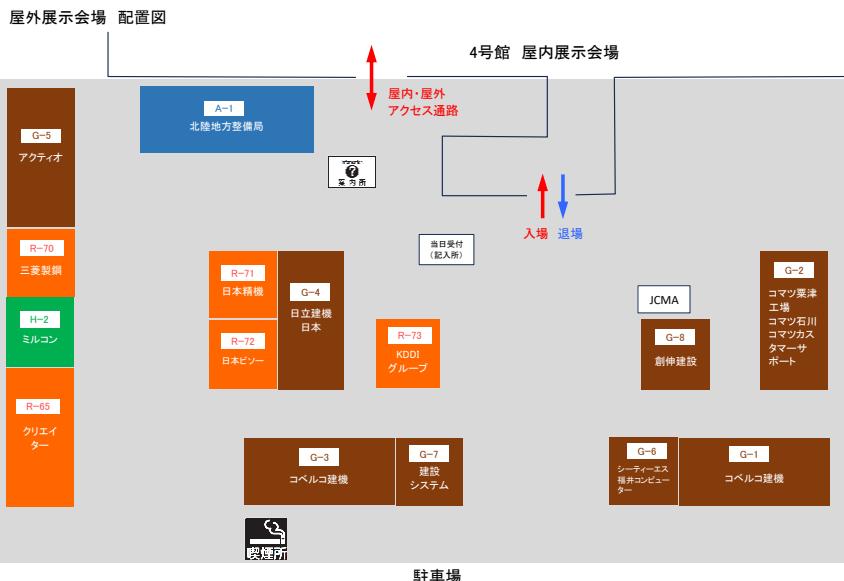
出展技術および来場者数



屋外展示場・ICT特設展示場では、「みて、ふれて、知る 新技術・新工法」のサブタイトルに沿い、ICT建設機械等による実演・体験が行われ、当北陸支部では配置計画から実践までの全てにおいて施工協力を行いました。なお、今回はコロナ感染症が収束し、4年ぶりにコロナ禍前のような活気ある開催となり2日間で約4,921名が来場されました。

屋外展示場・ICT特設展示場

当北陸支部は、従来と同様に実行委員メンバーとなっており、屋外展示場として、「施工実演・体験」として施工協力を実施しました。なお、ICT展示ブースを盛り上げるため、「なにか、いいことあるかも」の企画を行い、サイコロを2個転がしてもらい数値合計により建設機械ミニチュア（トミカ製）や粗品（お菓子）を配布する面白コーナーを設け、多くの学生さんが訪れ楽しまれておりました。



日立建機日本(株)
ZX40U-5B



コマツカスタマーサポート(株)
のPC138US-11



コベルコ建機日本(株)のSK75SR-7, SK30SR-7



日本キャタピラー(同)の油圧ショベル320

2024ふゆトピア・フェアin北広島 除雪機械展示・実演会



2024ふゆトピア・フェアin北広島の開催概要

日本の豪雪地帯は、24道府県の532市町村にわたり、国土面積の51%を占め、総人口の約51%が居住しています。雪国においては、雪を克服するための道路の除排雪、消雪施設や流雪溝の整備などが行われ、地域づくりに雪国の豊かな自然を活かしたり利用したりする試みが行われています。

「ふゆトピア・フェア」は、国・地方公共団体・企業・NPO等、様々な方が参加し、北国ふゆの課題克服・ふゆを活かした地域づくりなど、ハード・ソフト両面にわたる技術や取組に関する情報交換に加え、開催地である北広島市をはじめとする雪国の魅力を広く発信することで、北国における各主体の活動および相互の連携の発展、地域振興を図ることを目的としています。なお、開催は北海道、東北、北陸でリレー開催しており、開催地の県・市と共同で実施しています。

今年度は、北海道北広島で開催され、開催テーマとして「雪との共創、新時代、広げよう北広島から」とされておりました。

～雪との共創、新時代、広げよう北広島から～

2024ふゆトピア・フェアin北広島

とき 2024.
1/10 水・11木

ところ 北広島市

エスコンフィールドHOKKAIDO (ビレッジ) 面積
北広島市芸術文化ホール (中央6丁目2番地)
北広島市イベント広場 (中央3丁目5番地)

北広島市役所のキャラクター「まいピー」

オープニングセレモニー
1/10(水) 09:30-10:00
エスコンフィールドHOKKAIDO (1Fコンコース)

ふゆトピアシンポジウム
1/10(木) 14:00-17:00
北広島市芸術文化ホール 大ホール 活動室
北広島市芸術文化ホール 大ホール

ふゆトピア研究発表会
1/11(木) 09:30-16:15
北広島市芸術文化ホール 大ホール 活動室

ふゆトピア展示会
1/10(水) 10:00-16:00
エスコンフィールドHOKKAIDO (1Fコンコース)

1/11(木) 10:00-15:00
北広島市イベント広場

除雪機械展示・実演会
1/10(水) 10:00-16:00
1/11(木) 10:00-15:00
北広島市イベント広場

入場無料

●お問合せ ●
ふゆトピア・フェア・アート在来実行委員会事務局
(国土交通省北海道開拓整理部 地形課内
☎ 010-709-2311 FAX 010-709-9215 Saito-kyoto@mlt.mlit.go.jp
ホームページ [ふゆトピア・フェア 岩佐](https://www.hkt.mlit.go.jp/kyoto/chousen/sisyp/0000012b2.html)

ふゆトピアの前身は、昭和37年度に山形県新庄市で開催された除雪機械展示および実演会であり、昭和60年度からはこれまで個別開催していたシンポジウム、研究発表会、見本市、除雪機械展示・実演会の4つのイベントを同時開催することとしています。

「除雪機械展示・実演会」は当協会が運営しているもので、北広島市イベント広場で開催し、官庁を含めた14企業等の最先端技術が展示され、6企業の実演が行われました。出展各社とも最新技術を搭載した除雪機械を出展しており、より除雪の効率化を図っています。

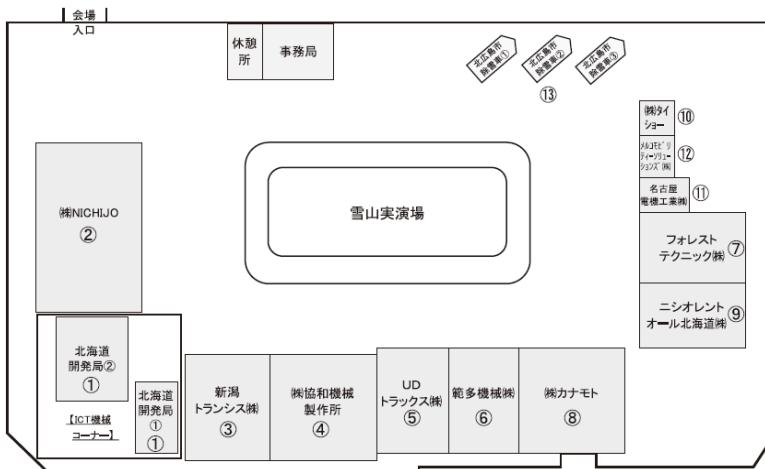
「ふゆトピアシンポジウム」は、北広島市芸術文化ホールで株式会社ZENSHINCONNECTの「杉谷拳士」氏による基調講演「前進の心得」と、「共に創る近未来(2050年)の北海道の冬を考える」と題してパネルディスカッションが行われました。

「ふゆトピア展示会」は、エスコンフィールドHOKKAIDOにて、冬期における生活環境や防災力の向上、観光振興、地域活性化など、企業・団体・行政による克雪、利雪、親雪に関する技術屋取組等をブース展示し、来場者に広く情報発信が行われました。

「ふゆトピア研究発表会」は、北広島市芸術文化ホール「大ホール」にて、積雪寒冷地における、安全・安心な生活を送るために新技術への挑戦や開発、地域協働等の発表を通じて、積雪寒冷地で取組を行う参加者同士の意見交換等が行われました。



除雪機械展示・実演会（展示ブース配置状況）



1	北海道開発局
2	株式会社NICHINO
3	新潟トランシス株式会社
4	株式会社協和機械製作所
5	UDトラックス株式会社
6	篠多機械株式会社
7	フォレストテクニック株式会社
8	株式会社カナモト
9	ニシオレンツオール北海道株式会社
10	株式会社タイショウ
11	名古屋電機工業株式会社
12	メルコモビリティーソリューション株式会社
13	北広島市(北広島道路維持協同組合)
JCMA事務局(事務所棟および休憩所)	
: JCMA北陸支部会員	

北陸支部会員の出展社状況



【出典内容】ロータリ除雪車HTR 308、小形除雪車HTR 88、KBR 108、凍結防止剤散布車NWS 35 SS 5に加え、初のお披露目となる一車線積込型ロータリ除雪車HTR 308 Lの5台を展示

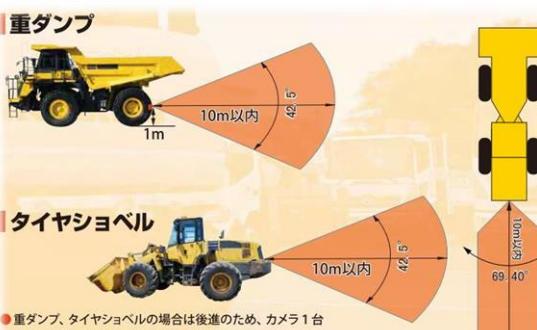


【出典内容】出力の大きい2.6m級(400PS)のロータリ除雪車NR 403型で、最終4次排出ガス規制に対応し環境にも配慮したエンジンを搭載したもの展示



6 篠多機械

【出典内容】ベルトコンベアを採用し確実で安定した搬送量を実現した4t級凍結防止剤散布車を展示。また、残塙対策用にオプション設定したバイブレータ装置型も展示



- 重ダンプ、タイヤショベルの場合は後進のため、カメラ1台で十分な視野角を確保できます。
- さらに走行エリア外を検知範囲から除外することで、無駄な誤作動などを防いでいます。

8 カナモト

【出典内容】除雪用タイヤショベルの人への接触防止を未然に防ぐ「ナクシメント」の実演を実施。また、4tダンプカーに取付可能な折り畳み式補助アオリ「この雪運びマス」を展示

除雪機械安全施工技術講習会



除雪講習会の開催概要

本除雪講習会は、道路除雪作業に使用する除雪機械を運転するにあたって、道路における危険を防止し、安全及び効率的な施工を習得していただくことを目的に開催しています。

この講習会は、昭和56年に除雪機械安全点検整備講習会としてスタートし、昭和61年から除雪機械管理施工技術講習会としているもので、令和2年度から、アンケートの実態及び安全管理の重要性等を踏まえ、「除雪機械安全施工技術講習会」として開催しています。なお、受講者が県道・市町村道の除雪従事者の占める割合が多いことから、

テキストを令和3年度に当協会北陸支部の雪氷部会で全面改訂を行い、更に「除雪機械による立ち往生車両の牽引」の部分改訂を行ってきました。

令和5年度の講習会会場は、講習会アンケート結果及び定員オーバー等の発生から「上越会場」を2日とし、隔年開催としている「能登会場」の実施、新潟会場と富山会場は従前から2回実施し、全会場では8箇所11回の講習会の開催を行いました。

なお、受講者の希望者に応じて、(一社) 全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度CPDSの発行(ユニット数5)を行いました。

講習会開催日および講習会プログラム

会 場 名	開催日	会 場	受講者数(人)
魚沼会場	10月 2日(月)	魚沼市地域振興センター	192
富山会場(1)	10月10日(火)	富山産業展示会 大会議室	105
富山会場(2)	10月11日(水)	富山産業展示館 大会議室	105
新潟会場(1)	10月16日(月)	新潟県建設会館	107
上越会場(1)	10月17日(火)	上越商工会議所	97
上越会場(2)	10月18日(水)	上越商工会議所	65
村上会場	10月19日(木)	村上市民ふれあいセンター	73
長岡会場	10月20日(金)	ハイブ長岡	168
能登会場	10月24日(火)	石川県立生涯学習センター	44
金沢会場	10月25日(水)	石川県地場産業振興センター	67
新潟会場(2)	10月31日(火)	新潟県建設会館	124
合 計			1,147

時 間	科 目	講 師
9:30~	受付	
9:55~10:00	開会	(一社)日本建設機械施工協会
10:00~10:30	除雪への取組について	国土交通省北陸地方整備局
10:30~11:15	除雪ドーザ及び除雪グレーダの点検・取扱上の留意点	除雪機械メーカー 技術担当者
11:15~12:00	ローリー除雪車及び凍結防止剤散布車の点検・取扱上の留意点	除雪機械メーカー 技術担当者
13:00~14:30	道路除雪計画及び除雪施工法の留意点	除雪施工 技術担当者 等
14:30~16:00	除雪作業における安全管理他について	除雪施工 技術担当者 等
16:00~	受講証の交付、閉講	(一社)日本建設機械施工協会

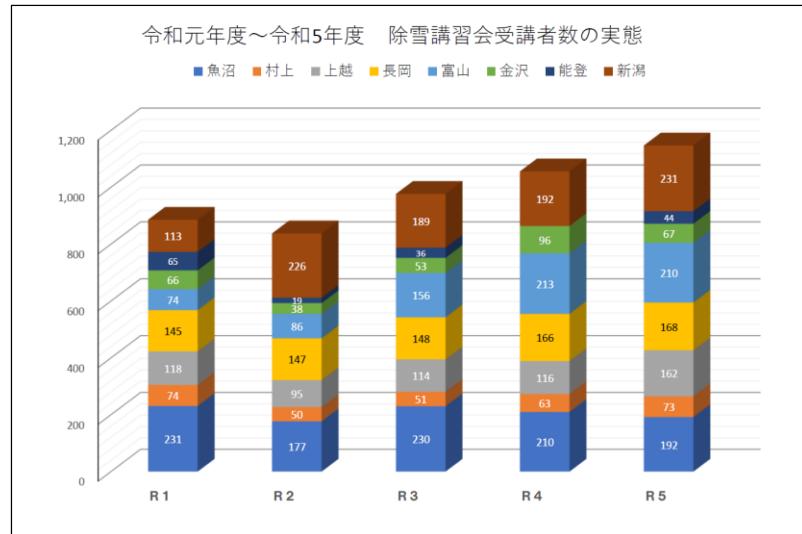


過去5箇年の除雪講習会受講者数の推移

令和元年度から令和5年度の5箇年による除雪講習会の受講者数は、少雪傾向であった令和元～2年度では800名強でしたが、令和5年度は1,100名を越え、令和2年度と比較した場合では、約3割以上の受講者数が多くなっています。

この理由として、令和2年度と令和3年度において、北陸地域における西部地区の冬期降雪量が多く、オペレータ不足が発生した理由と思われます。

講習会の改善意見として、アンケート結果から「除雪の機能構造の短縮への検討」、「安全管理（事故事例）の時間延長の要望」、「素人と中堅オペレータの別講習の設置」が上げられております。



除雪講習会の受講者年齢の実態

除雪機械のオペレータの高齢化や若手オペレータの確保などの課題が顕著化されていることから、アンケート調査から受講者年齢について調べた結果、下記に記載する結果となりました。

- ① 除雪機械オペレータの年齢構成で40代が最も多く、次に多いのは50代となっている。
- ② 40代、50代、60代以上のオペレータ割合は全体の約60%と変化がない。
- ③ 30歳までのオペレータ割合は近年微増しているが、今年度は若干低くなっている。

なお、除雪講習会の受講年齢は、オペレータの年齢構成でないため、令和5年9月にとりまとめを実施した「道路除雪オペレータ実態調査」で記載しています。

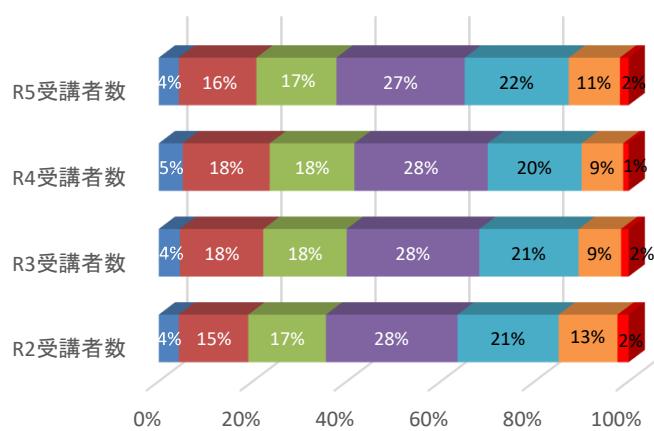


富山会場の講習状況

年齢	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	R2受講者数	割合	R3受講者数	割合	R4受講者数	割合	R5受講者数	割合
19歳まで	32人	4%	42人	4%	53人	5%	48人	4%
20～29歳まで	112人	15%	166人	18%	192人	18%	186人	16%
30～39歳まで	125人	17%	166人	18%	187人	18%	192人	17%
40～49歳まで	212人	28%	264人	28%	295人	28%	308人	27%
50～59歳まで	163人	21%	198人	21%	208人	20%	250人	22%
60～69歳まで	95人	13%	85人	9%	92人	9%	123人	11%
70歳以上	18人	2%	15人	2%	12人	1%	21人	2%
計	757人	100%	936人	100%	1039人	100%	1128人	100%
アンケート回収率		98%		97%		99%		99%

除雪講習会の受講年齢割合(R2～R5)

■19歳まで ■20～29歳まで ■30～39歳まで ■40～49歳まで
■50～59歳まで ■60～69歳まで ■70歳以上





ICT活用講習会の開催概要

i-Constructionにおける「ICT技術の全面的な活用による生産性向上」の推進から、北陸地域へのICT導入・普及・拡大を継続的に推進するため、北陸ICT戦略推進委員会で定めた令和5年度「ICT普及・拡大講習会・研修ロードマップ」及び「ICT普及・拡大計画工程表」に基づき、

入門者クラス及び実践者クラスの講習会開催について、JCMA北陸支部は全面的に協力を実施しました。

なお、令和5年度に北陸技術事務所構内にて「北陸インフラDX人材育成センター」が設置されるため更に協力していく所存です。

実践者クラス講習会

実践者クラスの講習会は、新たに基準類が制定された「ICT床固工」、「ICT小規模土工」の積極的な推進から、昨年度は富山会場のみでしたが、今年度は新潟会場が追加されました。富山会場は11月16日の午前の部と午後の部に、新潟会場は11月29日の午前の部と午後の部の4班体制にて実施しました。

富山会場は申込者数32人で参加者は27人、新潟会場は申込者数26人で悪天候のため参加者は15人となりました。実践者向け講習内容は、座学とし

規模土工で活用できる3次元計測技術」、施工実技として「3DMCバックホウの法面整形講習」及び「3DMGミニバックホウによる床堀演習」、測量実技として、昨年度の講習で好評であった「モバイル端末による面管理」や「TLSによる多点計測」を実施しました。

3DMGミニバックホウ（0.25m³級）及び3DMCバックホウ（0.45m³級）の施工実技においては、昨年度と同様、3DMCを現場にて使用することで出来形に問題なく施工ができるとの声が多く聞かれました。

■実践者クラスの開催日時及び参加者

実施箇所	申込み班体制	開催日時	申込者数	参加人数	欠席者数
北陸技術事務所 富山出張所構内 (富山防災センター)	1班	令和5年11月16日(木) 9:00～12:00	16人	12人	4人
	2班	令和5年11月16日(木) 13:30～16:30	16人	15人	1人
北陸技術事務所構内 (新潟防災センター)	3班	令和5年11月29日(水) 9:00～12:00	17人	10人	7人
	4班	令和5年11月29日(水) 13:30～16:30	9人	5人	4人
		計	58人	42人	16人

■実践者クラス講習会のプログラム

講義内容	講義時間	担当講師
1. 開催挨拶	5分	北陸地方整備局企画部施工企画課
2. 【座学】ICT活用の概要	20分	企画部施工企画課 松村課長補佐
3. 【座学】①小規模土工で活用できる3次元計測技術 ②小規模土工によるTLS計測技術	30分	日本測量機器工業会
4. 【実技】①3DMGミニバックホウによる法面整形演習 ②3DMCバックホウによる法面整形講習	100分	日本建設機械施工協会北陸支部会員
5. 【測量実技】①モバイル端末による面管理 ②TLSによる多点計測技術		日本測量機器工業会
5. アンケート記入、CPDS受講証明書の交付	20分	北陸地方整備局企画部施工企画課



入門者クラス講習会

入門者クラスの講習会は、ICT活用の経験がない初級者を対象に実施するもので、昨年度と同様「Web講習会」で開催計画を行いました。

開催は12月22日の予定で、申込みはGoogleフォームにて作成して自動集計とし、申込者には受講にあたってのURL、注意事項、講義資料の自動返信を行う方式としました。

しかしながら、12月21日からの大雪予報に伴い、北陸地方整備局において雪害対応が想定されたため、講習会を「中止」することが決定されました。これにより、受講者予定者442名全員に「開催中止」のお知らせを行いました。

なお、この参加者数が多いことから、次年度以降の講習会有無について検討が必要と思われる。

■入門者クラス講習会のプログラム

講義内容	講師所属	講師	講師Web箇所
開会挨拶・ICT活用の概要	北陸地方整備局	企画部施工企画課 遠山専門調査官	北陸地方整備局 4F会議室
ICT活用工事の流れ	日本建設機械施工協会	サイテックジャパン(株) 鈴木 勇治	(一社)日本建設機械施工協会 機械振興会館内
ICTを活用した測量業務等の概要	全国測量設計業協会	(株)国土開発センター 徳田 義孝、東 龍生	(株)国土開発センター 石川県白山市八束穂3-7
北陸地方整備局における インフラDXの取り組み	北陸地方整備局	小幡建設情報・施工高度化技術調整官	北陸地方整備局 4F会議室



実践者クラス(富山)基準局設置



実践者クラス(富山)3DMC操作講



コントロールパネル操作講習



実践者クラス(新潟)講習状況



実践者クラス(新潟)操作演習



コントロールパネル確認



実態調査の概要

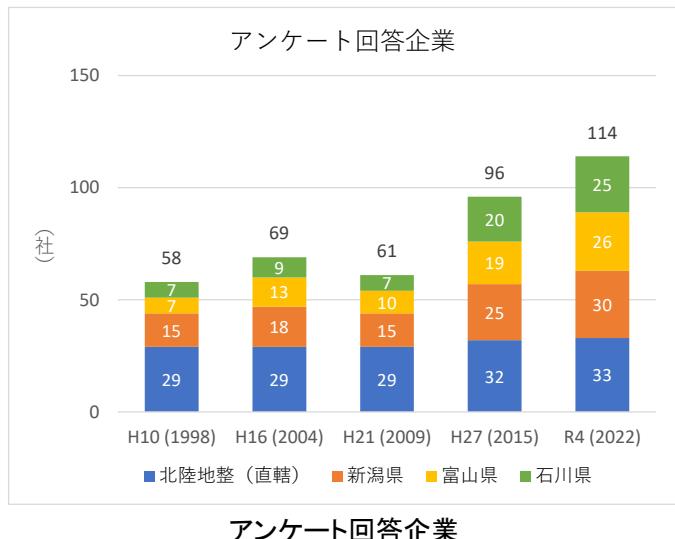
雪国の道路除雪を支える除雪機械のオペレータにおいて「高齢化対策」や「オペレータ不足」と言った課題が多く聞かれることから、当協会北陸支部において、オペレータ数の経年変化の実態を把握するため、北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県の道路除雪の受注者約120社を対象に平成10年度、平成16年度、平成21年度、平成27年度に実態調査を4回実施しており、今回の調査は7年ぶりに調査を行ったものです。

過去の実態調査は経年変化をより明確とするため、調査対象企業を固定とした調査でしたが、除雪作業非受注等を理由とするアンケート回収数の低下が地方自治体関係企業で散見されたため、調査表の回収率の向上を図るために当協会で開催している「除雪機械安全施工技術講習会」の参加企業を対象に一部見直しを行い、調査を実施しました。

今回調査では、複数の道路管理者の除雪作業を受注している場合があることから、発注機関毎に区分が可能な場合において、国、県、市町村別に

作業体制を記入できるよう見直しを実施しました。

その結果、従前の調査に比べ地方自治体データが多く回収されることとなったため、今後のデータ蓄積により地方自治体の課題抽出の一助となることが期待できます。



アンケート回答企業

オペレータ実態調査の継続状況

下記表には、平成10年度から令和4年度までのアンケート回答の継続状況を示すが、5回のアンケートにおいて、1回のみ回答者は全体の34%を示し、3回以上の持続性があるデータは54%、平成10年度から令和4年度まで5回連続して回答を得ている割合は全体で36社の32%を示します。

令和4年度のアンケート調査箇所は、平成10年度

から平成27年度までのアンケート依頼において、回答がなかった企業や除雪事業から撤退している企業を除外し、合わせてオペレータの少人数の企業に対して見直しを実施しました。

持続性の観点では若干懸念がありますが、平成27年度調査の継続回答企業が6割強を占めるため、経年変化の把握には十分なものと判断しました。

アンケート回答企業数と持続性

(提出企業数)

	R04 (2022)			H27 (2015)	H21 (2009)	H16 (2004)	H10 (1998)	
	継続 調査	発注機関 毎のため 追加件数	從来企業 調査なし	調査 新規追加	継続調査等			
直 轄	33	0	0	0	32	29	29	29
新潟県内	21	21	△ 7	8	25	15	18	15
富山県内	14	11	△ 8	12	19	10	13	7
石川県内	8	12	△ 16	18	20	7	9	7
計	76	44	△ 31	38	96	61	69	58
	158			—	—	—	—	

H10～R04の調査回答数				
5回 回答	4回 回答	3回 回答	2回 回答	1回 回答
23	7	3	0	0
8	5	2	7	8
3	4	2	5	12
2	1	1	2	19
36	17	8	14	39
32%	15%	7%	12%	34%



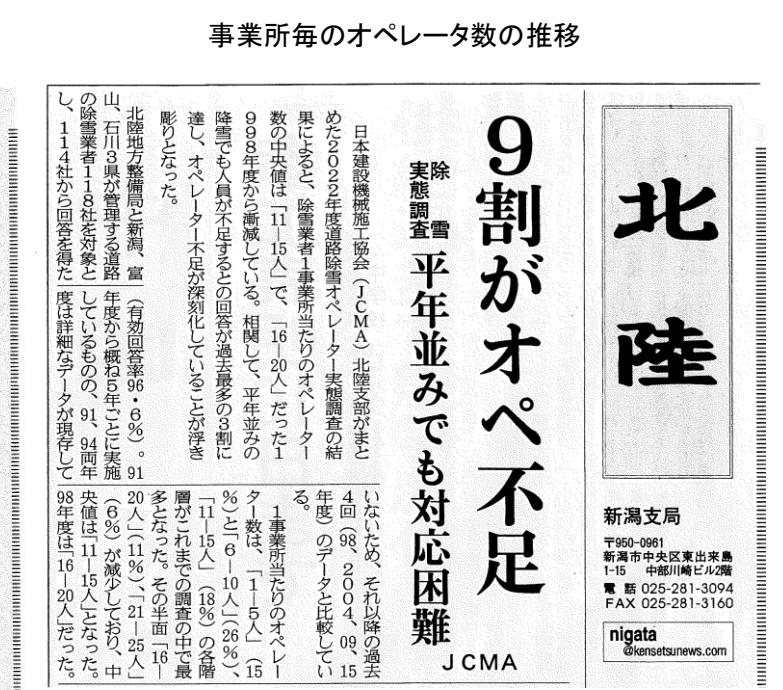
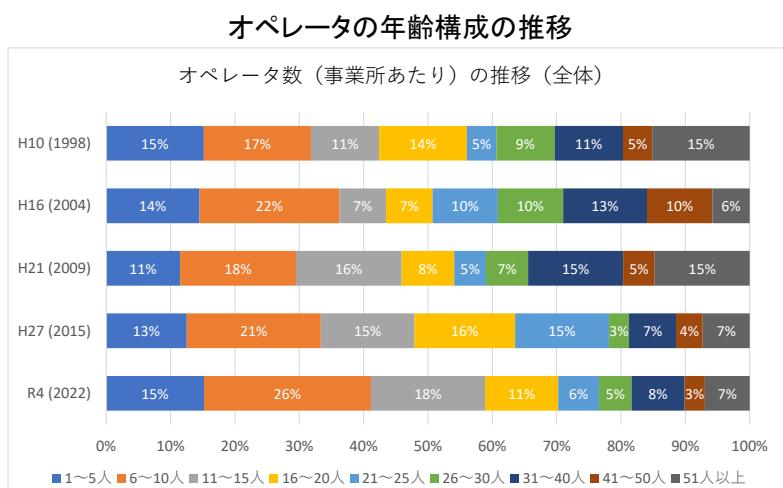
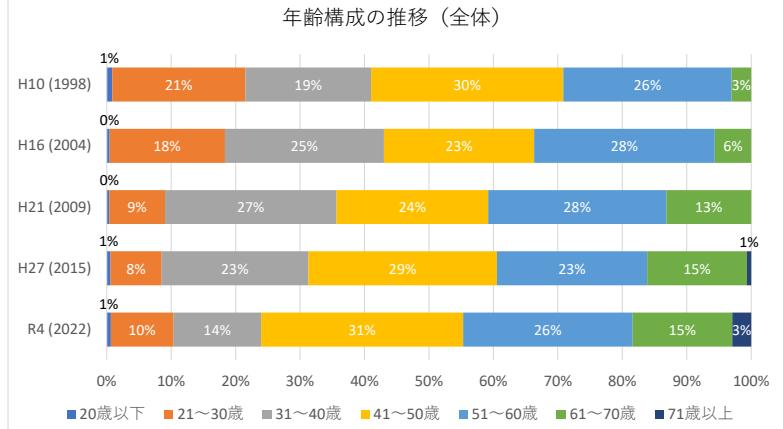
除雪機械オペレータの年齢構成および事業所毎のオペレータ数

実態調査は、除雪作業の繁忙期である令和5年1月に実施し、3月末に回収した結果114社からの回答があった。調査とりまとめは、オペレータの「確保状況」、「年齢構成」、「勤務体制」、「充足状況」、「不足数」等を行い、その中で「年齢構成」では、平成16年度調査から年々高齢化傾向を示しており、令和4年度は更に高くなっています。

前回調査との比較では、20歳代は若干増加しているものの30歳代が9ポイント減少しています。一方、40歳以下では7ポイント減少し、51歳以上は5ポイント増加しており、オペレータの高齢化が一層進んでいることが確認されました。更には71歳以上のオペレータが引き続き増加し、若手入職者不足を高齢オペレータが補っているものと推測されます。

除雪業者の事業所あたりのオペレータ数では、前回調査の平成27年度の中央値は「16～20人」であったが、令和4年度では「11～15人」を示している。相関して、平年並みの降雪でも人員が不足するとの回答が3割に達し、オペレータ不足が深刻化していることが浮き彫りとなりました。

なお、実態調査報告は（一社）日本建設機械施工協会北陸支部のホームページにて、概要版と詳細版を公開しています。



「建設通信新聞」の掲載記事

掲載日：左側：2023年10月24日

右側：2023年12月18日

地方自治体等への除雪講習支援



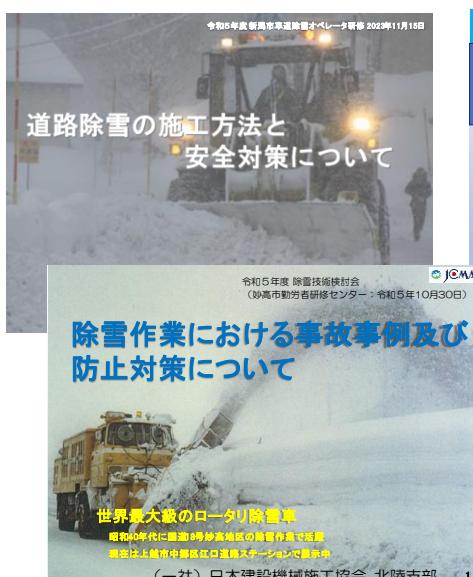
除雪講習会の講師派遣

除雪作業に伴う講習会等において、国土交通省や地方公共団体等から要請を受け、毎年講師の派遣を実施しています。

今年度も従来とあまり変化がありませんが、地方自治体からは、妙高市が開催する「除雪作業に関する安全講習会」、新潟市が開催する「新潟市車道オペレータ研修」、JCMA本部で開催している「関東甲信地区道路除雪講習会」、更に直轄

関連としては国土交通大学校からは「施工企画研修 維持用建設機械（除雪機械）」について、4箇所の支援を行っています。

なお、当協会で作成している「道路除雪施工の手引」のテキストを基本的に使用するものとしており、あまり使用されていない除雪機械については割愛しています。



講習会の説明資料の一部

実施日	講習会名	依頼者	講習人員	講習場所等
令和5年10月30日(月)	除雪作業に関する安全講習会	妙高市	79名	妙高勤労者研修センター
令和5年11月1日(水)	関東甲信地区道路除雪講習会	JCMA本部	95名	機械振興会館(東京都港区) 対面+Web講習会
令和5年11月15日(水)	新潟市車道オペレータ研修	新潟市土木部 土木総務課	61名	新潟テルサ
令和5年11月16日(木)	維持用建設機械（除雪機械）	国土交通大学校	20名	国土交通大学校(東京都小平市)



新潟市車道除雪オペレータ研修講習状況(穂苅技師長)



新潟市車道除雪オペレータ研修状況

JCMA現場見学会



現場見学会の開催概要

現場見学会は、令和元年度にICT活用工事（大河津分水路工事）を開催して依頼、令和2年度から令和4年度の3箇年において、新型コロナウイルス感染症防止対策として中止しておりましたが、4年ぶり開催を行いました。

今年の開催は、普及部会委員の提案により、ICT関連で建設機械の組み立て工場を是非みたいとの要望から企画を行ったものです。

見学会の開催は10月12日に実施し、金沢駅もしくは石川県産業展示館での現地集合とし、午前中は「コマツ粟津工場」を見学しました。工場内のライン生産は日本はもとより、アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど世界各国において、建設・鉱山機械・産業機械・車両などに展開されているようです。

コマツ粟津工場の組立は、全てライン生産が行われており、組立部品が1台毎に容器に入っており組立漏れがないように整備されいること、また、組立段階毎に検査が実施されおり、検査員の殆どが女性であり活躍されておりました。



参加者の記念撮影(こまつの杜)



コマツ粟津工場内のライン生産状況

その後、日本に1台しかない超大型ダンプトラック930Eと超大型油圧ショベルPC4000の展示されている「こまつの杜」の見学を行い、昼食はめったに経験できない航空自衛隊の食堂を利用させていただきました。

昼食後には「防衛省航空自衛隊小松基地」で広報資料館および航空機の整備状況を見学しました。

見学中においては、航空機の訓練で爆音がすごく大きく、隣同士の会話が全く聞こえませんでした。

残念なこととして、小松基地内の写真撮影が禁止のため、ネット検索の写真を添付しています。

小松基地では航空整備員体制や救助ヘリなどの説明があり、参加者の皆様から貴重な経験をさせて頂き、「大変良かった」との声がありました。



航空自衛隊小松基地の訓練飛行(HPより)



技能評価試験の概要

外国人技能実習制度の現状は、開発途上国等の青年労働者を一定期間日本の産業界に受け入れて、産業・職業上の技能・技術・知識を習得させ、開発途上国への技術移転を図り、その国の経済発展を担う人材育成を寄与する目的としています。

しかしながら、我が国の人手不足が深刻する中、外国人が日本の経済社会の担い手となっている現状を踏まえ、人権を配慮しつつ、産業及び経済並びに地域社会を共に支える一員として外国人の適切な受入れを図り、最大限に発揮できる多様性に富んだ活力ある社会を実現するため、新たな制度として見直しが行われています。

この制度は、平成29年11月に施工され、令和4年度末の技能実習生数は約32万人在職していると言われています。

技能実習制度は、農業、漁業、建設、食品製造等の多種多様の職種がありますが、建設関係では22種33作業のうち、「建設機械施工」として、当協会本部が厚生労働省の承認を受け、外国人技能実習生の技能評価試験を行っています。

当協会は平成25年までは全国で100～200人の受験者数で推移していましたが、年々増加傾向が続き、受験者数が年間約6,500人となっています。よって、北陸地域においては、令和3年度から北陸支部が担当する技能評価試験が金沢市で行われています。

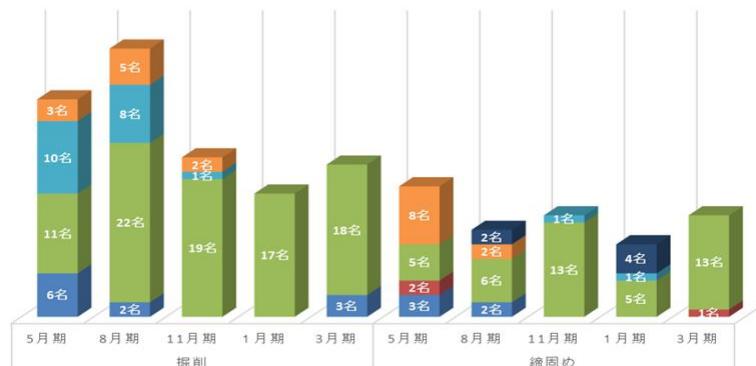
令和3年度及び令和4年度は、年4回（5・8・11・3月）で4日間、令和5年度は、1月が追加され年5回で7日間、令和6年度は年5回で9日間を計画しており、年間行事のウエイトが年々高くなっています。

受検者数および受検種別毎の受検者国籍



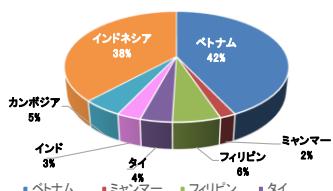
令和5年度外国人技能評価試験 種目別受験者数(掘削・締固め)

■ 初級 学科のみ
■ 専門級 学科のみ
■ 上級 実地のみ
■ 初級 実地のみ
■ 専門級 実地のみ
■ 初級 学科+実地
■ 専門級 学科+実地

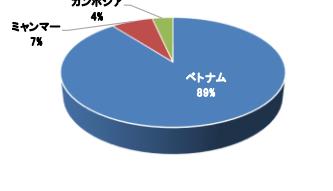


級別	種別	国籍	5月	8月	11月	1月	3月	計	R4参考
初級	掘削	ベトナム	6	8		6	13	11	44 27
		ミャンマー				2	2	0	
		フィリピン	4			2	6	5	
		タイ	4				4		
		中国							
		インド	2		1			3	
		カンボジア	1	4				5	2
		インドネシア	8	6	12	7	6	39	27
初級	締固め	ベトナム	6	6	5		6	23	14
		ミャンマー	1			2	3	2	
		フィリピン		2		2	4		
		タイ							
		カンボジア			3			3	
		インドネシア	3		5	3	7	18	4
		中国							
		計	27	34	32	25	36	154	81

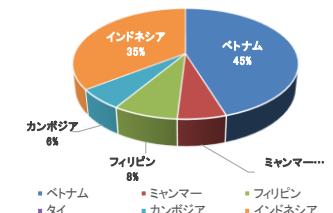
外国人評価試験 初級(掘削)国籍



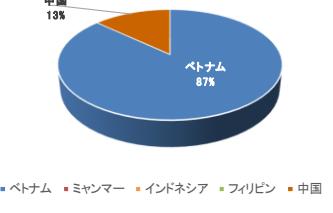
外国人評価試験 専門級(掘削)国籍



外国人評価試験 初級(締固め)国籍



外国人評価試験 専門級(締固め)国籍



級別	種別	国籍	5月	8月	11月	1月	3月	計	R4参考
専門級	掘削	ベトナム	11	11	3			25	37
		ミャンマー	2					2	1
		カンボジア			1			1	
		インドネシア						2	
		中国							
専門級	締固め	ベトナム	8	4	1			13	17
		ミャンマー							
		インドネシア						3	
		フィリピン						2	
		中国		2				2	
		計	21	17	5	0	0	43	62



i-Construction施工説明者試験・更新講習



施工説明者・更新講習の概要

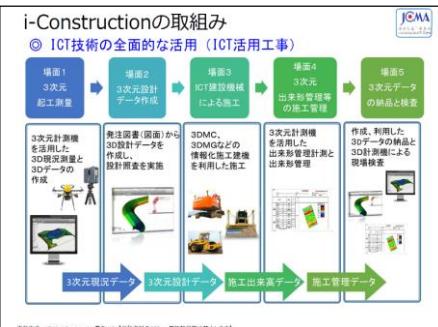
認定試験は、JCMA本部が作成した「標準テキスト」を正しく理解して、顧客などに正確に説明できる担当者を認定する目的として開催しており、一定以上のレベルに到達していると判定されたものはマスターと認定しているものです。

また、更新講習は試験に合格した施工講習説明者を対象に国土交通省が新規に策定する要領等の最新の情報・動向の提供・周知を目的に、より一層の普及を目的に開催しているものです。

令和5年度においては、感染コロナウイルス感染症が収束気味であることから、事前にＩＣＴ施工メーカー等に新潟開催の必要性を伺ったところ、施工説明者試験および更新講習の各々10名以上の開催希望があったことから、11月22日に4年ぶりに開催したものです。なお、最終人数は施工説明者試験は15名、更新講習は17名の参加となりました。

- A : 「i-ConstructionとICT活用工事」
- B : 「TS、GNSS計測」
- C : 「UAV、LS計測」
- D : 「ICT建設機械」「施工履歴データ」
- E : 「ICT土工」
- F : 「ICT舗装工」
- G : 「3次元データ」

*試験科目は7種類あり、個別に受験が可能である。



3次元設計データ ④3次元設計データ作成ソフトの種類		JOMA 日本機械オートメーションマガジン						
ソフト名称	開発会社	機能 データ作成	TIN データ作成	KTC機能	TS出力 機能	DWG DXF	Solid WORKS	Lens VIEW
Autodesk Civil 3D	オートデスク	●	●	○	—	●	●	●
マイスケルト	建設システムズ	●	●	○	—	●	●	●
SITECH 3D	建設システムズ	●	●	●	●	●	●	●
3D-Office	トヨク	●	●	●	●	—	—	●
Business Center	ニシントコリソルブ	●	●	●	●	—	—	—
EX-TRENO武藏	福音コンピュータ	●	●	●	●	●	●	●

i-Construction更新講習による説明資料(一部抜粋)

能登半島地震支援

2024年1月1日午後4時10分、石川県能登地方を震源とするマグネチュード7.6の地震が発生し、津波や余震、地震に伴う火災により、1ヶ月後で災害関連死が疑われる15人を含む238人が死亡し、避難所で暮らすのは1万4000人超におよびます。

国土交通省は全ての地方整備局からTEC-FORCEを派遣し、2月22日現在77班241人が派遣中とされて

います。また、災害対策機械においては、照明車、排水ポンプ車、対策本部車、給水機能付散水車が各地域に配備されています。

JCMA北陸支部では、災害応急対策業務に関する協定を締結しており、災害対策用機械の現地整備を会員3社（千代田機電㈱、㈱三越、㈱山崎サービス）で実施しています。



能登半島地震による輪島市の罹災状況

能登半島地震による道路緊急復旧の状況・土砂発生状況(北陸地方整備局HPから)



災害対策用機械 前進集結状況R6.1.14 (富山防災センター)



JCMA親睦ゴルフ大会

日本建設機械施工協会北陸支部会員の親睦を図るため、毎年1回開催しており、今年度令和5年9月15日に親睦ゴルフ大会をノーブルウッドゴルフクラブ（新発田市藤塚浜）で開催しました。

今年の参加者は、競技は例年どおり秋晴れのなか、事務局を含めて18人でプレーを楽しみました。協議はWペリア(12H)方式で全てのロングホール・ショートホールでドラコン賞4ホール、ニヤ

ピン賞4ホールで行われ、例年に上位に食い込む参加者において欠席となったかわ不明ですが、今年度の優勝者は株加賀田組の「金子 剛」様が見事に優勝されました。優勝者のグロスは98でしたが、隠しホールのHDCPが多かったようです。

次回のJCMA親睦ゴルフ大会には、大勢の出席者を期待しています。



■ゴルフ大会 成績表

順 位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	受賞
優 勝	金子 剛	52	46	98	27.6	70.4	
準優勝	早川 直人	45	44	89	18.0	71.0	
3 位	矢尾板 勝仁	39	43	82	8.4	73.6	
4 位	星野 成彦	47	40	87	13.2	73.8	NP.11
5 位	齋藤 浩之	43	47	90	15.6	74.4	



大会前の記念撮影等



優勝者の金子 剛さん(左側)



総会・運営委員会

■ 令和4年度北陸支部支部監査

月 日：令和5年4月25日(火)
 場 所：興和ビル10F 小会議室
 出席者：樋口、二宮 支部監査役
 議 題：業務監査(支部業務全般にわたる適正
 適法性について)
 会計監査(貸借対照表、正味財産増減計算書
 財産目録の適正、適法性について)

■ 令和5年度企画部会打合せ会議

月 日：令和6年2月15日(木)
 場 所：北陸支部事務室
 出席者：堤 事務局長 他3名
 議 題：①令和6年度事業計画の立案について
 ②令和6～7年度の部会長・委員の選定について
 ③令和5年度2月からの今後の予定について

■ 令和5年度第1回運営委員会、
北陸支部第12回通常総会

月 日：令和5年5月23日(火)
 場 所：新潟東映ホテル
 出席者：岩見 本部事務局長
 丸山 北陸支部長 他16名(運営委員)
 大川 顧問
 支部監査2名、事務局5名、その他会員53社
 議 題：①令和4年度事業報告及び決算報告について
 ②令和5年度事業計画及び収支予算について
 ③令和5年度永年会員・永年役員の表彰
 ④優良建設機械運転員・整備員表彰

■ 令和5年度第2回運営委員会

月 日：令和6年3月18日(月)
 場 所：新潟東映ホテル
 出席者：丸山 北陸支部長 他18名
 議 題：①令和6年度事業計画及び予算について
 ②優良建設機械運転員・整備員表彰(案)について
 ③あかしや通信No.42の発刊について

企画部会関連

■ 「けんせつフェア北陸2023in金沢」
屋外展示希望者事前会議

月 日：令和5年4月19日(水)
 場 所：興和ビル 7F会議室
 出席者：堤 事務局長
 発 表：①けんせつフェア実施計画について
 ②出展募集要領について
 ③全体運営体制(案)について
 ④前回開催(2021)の出展企業配置について
 ⑤2023屋外展示計画・確認事項について

■ 令和5年度 北陸地方防災エキスパート運営委員会

月 日：令和5年5月30日(火)
 場 所：アートホテル新潟駅前 4F越後
 出席者：堤 事務局長
 議 題：①令和4年度活動報告について
 ②専門防災エキスパートの選出について
 ③防災エキスパート活動全般について
 ④北陸地方整備局における防災に関する最近の話題

■ 第1回企画部会

月 日：令和5年4月27日(木)
 場 所：書面表決
 議 題：①令和4年度事業報告について
 ②令和4年度決算報告について

■ 「けんせつフェア北陸2023in金沢」第2回実行委員会

月 日：令和5年6月12日(月)
 場 所：北陸地方整備局4F 共用会議室
 出席者：堤 事務局長
 発 表：①出展募集結果について
 ②実施計画(案)について
 ③会場配置計画(案)について
 ④修正予算について

■ 令和5年度 ICT活用講習会事前会議

月 日：令和5年4月28日(金)
 場 所：北陸支部事務室
 出席者：堤 事務局長
 議 題：①ICT導入協議会(意見要望、普及拡大に向けた
 取組について)
 ②令和5年度北陸ICT戦略推進委員会の活動方針
 ③入門者および実践者クラスの講習会について

■ 第8回新潟県除雪オペレータ担い手確保協議会
(本部協議会)

月 日：令和5年7月28日(金)
 場 所：新潟県庁 201会議室
 出席者：穂苅 技師長
 議 題：①第7回本部協議会の振り返り
 ②令和4年度の地域協議会における取組について
 ③令和5年度の協議会予定について

■「インフラDX人材育成センター」整備におけるカリキュラム

月 日：令和5年9月7日(木)
場 所：Web会議
出席者：堤 事務局長
議 題：①北陸インフラDX人材育成研修計画について

■けんせつフェア北陸2023in金沢の屋外展示計画会議

月 日：令和5年9月8日(金)
場 所：北陸支部事務室
出席者：堤 事務局長+北陸地方整備局職員
議 題：①屋外展示配置計画について
②屋外展示物搬入・搬出計画について
③屋外展示の発動発電機計画について
④大型建設機械の敷鉄板等の計画について

■ 第9回新潟県除雪オペレータ扱い手確保協議会 (本部協議会)

月 日：令和5年11月2日(木)
場 所：自治会館 301号室
出席者：穂苅 技師長
議 題：①第8回本部協議会の振り返り
②扱い手確保の取り組み計画について

■「けんせつフェア北陸2023in金沢」

月 日：令和5年10月4日(水)～5日(木)
場 所：石川県産業展示館4号館
出席者：堤 事務局長 他2名
出展者：北陸支部会員 8社
来場者：4,912名

■ 令和5年度 ICT活用講習会(実践者クラス)の開催 (富山地区)

月 日：令和5年11月16日(木)
場 所：北陸技術事務所富山出張所
出席者：堤 事務局長
内 容：①3DMGミニバックホウによる操作演習
②3DMCバックホウによる操作演習
参加者：27名

■ 令和5年度 ICT活用講習会(実践者クラス)の開催 (新潟地区)

月 日：令和5年11月29日(水)
場 所：北陸技術事務所構内
出席者：堤 事務局長
内 容：①3DMGミニバックホウによる操作演習
②3DMCバックホウによる操作演習
参加者：15名

■ けんせつフェア北陸2023in金沢 第3回実行委員会・第2回幹事会

月 日：令和5年12月5日(火)
場 所：書面開催
議 題：①開催報告について
②収支決算報告について
③次回開催(案)について

■建設インフラDXソリューションセミナー2023

月 日：令和5年12月8日(金)
場 所：石川県地場産業振興センター 第2研修室
主 催：福井コンピューター(株)中部営業所
共 催：(一社)日本建設機械施工協会北陸支部
内 容：①北陸地方整備局におけるインフラDXの取り組み
②建設DXを目指した取り組み事例の紹介
③現場におけるICT技術の活用事例
④FCソリューションの紹介

■令和5年度 ICT活用講習会(入門クラス)の開催

12月21日雪害対応の想定から中止

月 日：令和5年12月22日(金)
場 所：Web講習会(発信：新潟総合テレビ ゆめディア301)
出席者：堤 事務局長
受講者：予定者442名
講義内容：①ICT活用の概要
②ICT活用工事の流れ
③ICTを活用した測量業務等概要
④北陸地方整備局のインフラDXの取り組み

■ ふゆトピア・フェアin北広島(除雪機械展示・実演会)

月 日：令和6年1月10日(水)～11日(木)
場 所：北海道北広島市(北広島イベント広場)
出席者：丸山 支部長 他1名(視察団派遣)
除雪機械出展者：12社
来場者数：1,800名

■ 能登半島地震における防災エキスパート派遣等

月 日：令和6年1月14日(日)～16日(火)
場 所：北陸地方整備局富山防災センター
派遣者：宮島 普及部会委員
活 動：①災害対策用機械の運営管理に関する助言
②平成24年5月21日付け「災害応急対策業務
に関する協定」により災害対策機械の整備

■企画部会等打合せ会議

月 日：令和6年2月15日(木)
場 所：北陸支部事務室
出席者：本間 普及部会長、企画委員2名
議 題：①令和6年度事業計画の立案について
②令和6～7年度の部会長・委員の選出について
③第13回通常総会までの会議日程について

■ 広報委員会

月 日：令和6年2月22日(木)
場 所：興和ビル 10F小会議室
出席者：宮村 広報委員長 他5名
議 題：①「あかしや通信」掲載記事について
②編集及び発刊までのスケジュールについて
③「あかしや通信No.42」の掲載内容について
④「通常総会」までの今後の予定について

■ 第2回企画部会

月 日：令和6年3月14日(木)
場 所：興和ビル 10F大会議室
出席者：穂苅 企画部会長 他11名
議 題：①令和5年度事業報告及び決算報告(見込み)
について
②令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)
③優良建設機械運転員・整備員表彰(案)について
④あかしや通信No.42の発刊について
⑤R6～R7北陸支部部会名簿について
⑥協会誌「建設機械施工」”ずいそう”執筆者について

■ 第10回新潟県除雪オペレータ担い手確保協議会

(本部協議会)

月 日：令和6年3月21日(木)
場 所：自治会館 301号室
出席者：穂苅 技師長 他1名
議 題：①第9回本部協議会の振り返り
②今後の担い手確保協議会の活動について
③その他

普及部会関連

■ 令和5年度 支部総会時の講演会

月 日：令和5年5月23日(火)
場 所：新潟東映ホテル
講演者：北陸地方整備局企画部長
議 題：北陸地方整備局における施策について

■ 令和5年度 建設技術報告会 第1回実行委員会

月 日：令和5年6月14日(水)
場 所：北陸技術事務所1F 大会議室
出席者：樋口 普及部会委員
議 題：①実行委員会規約について
②「建設技術報告会」の実施計画について
③「建設技術報告会」の予算(案)について
④負担金の納入方法について

■ 令和5年度 第1回普及部会

月 日：令和5年6月21日(水)
場 所：興和ビル10F 大会議室
出席者：本間 普及部会長、他12名
議 題：①除雪機械安全施工技術講習会の計画について
②ニイガタ除雪の達人選手権について
③建設技術報告会について
④現場見学会について
⑤親睦行事の実施について

■ 令和5年度 除雪講習会のメーカー講師等打合せ会

月 日：令和5年7月26日(水)
場 所：興和ビル10F 小会議室
出席者：堤 事務局長 他メーカー講師4名
議 題：①除雪機械安全施工技術講習会開催のご案内
②令和5年度除雪講習会計画(案)について
③令和4年度除雪講習会アンケートとりまとめ
結果について
④令和3～4年度の新潟県・富山県・石川県
の受講企業数について

■ JCMA北陸支部 親睦ゴルフ大会

月 日：令和5年9月15日(金)
場 所：ノーブルウッドゴルフクラブ
参加者：北陸支部会員 18名

■ 令和5年度 除雪機械管理施工技術講習会

月 日：令和5年10月2日(月)～10月31日(火)
場 所：魚沼会場、富山会場(2回)、上越会場(2回)、
村上会場、長岡会場、金沢会場、能登会場
新潟会場(2回)の8会場で11回
受講者数：1,147名

■ 令和5年度 JCMA北陸支部現場見学会

月 日：令和5年10月12日(木)
場 所：コマツ栗津工場(石川県小松市符津町ツ23)
こまつの杜
防衛省航空自衛隊小松基地
(石川県小松市向本折町戊267)
参加者：北陸支部会員11社18名

■ 「建設技術報告会」の参画

月 日：令和6年1月10日(水)～31日(水)
場 所：Webビデオ放映(オンデマンド配信)
技術報告：1. i-constructionによる生産性向上、
インフラ分野のDX:8件
2. 社会資本の的確な維持管理・更新:6件
3. 雪に強い地域づくり:2件
4. 自然災害からの安全確保:1件
5. 環境の保全と創造:2件
6. その他:2件

■ 令和5年度 建設技術報告会 第2回実行委員会

月 日：令和6年3月6日(水)
場 所：書面表決
技術報告：①「建設技術報告会」の実施報告について
②「建設技術報告会」の収支決算報告について
③令和6年度の開催について

施工技術部会関連

■ 令和5年度 北陸ICT戦略推進研究会

月 日： 令和5年7月21日(金)
 場 所： 書面開催
 議 題： ①令和5年度北陸ICT戦略推進委員会規約について
 ②令和4年度取組計画について

■ 第2回新技術活用評価会議

月 日： 令和5年12月1日(金)
 場 所： 北陸地方整備局4F 災害対策本部長室
 出席者： 宮崎 施工技術部会長(新技術評価会議委員)
 議 題： ①繊維製かごマット「FIT-CUBE」の事後評価
 ②活用促進技術の指定(審議)について
 ③推奨技術候補の選定について
 ④テーマ設定型(技術公募)の実施状況について
 急傾斜法面等に適用できる草刈り技術

■ 第1回新技術活用評価会議

月 日： 令和5年9月6日(水)
 場 所： 北陸地方整備局4F 合同会議室
 出席者： 宮崎 施工技術部会長(新技術評価会議委員)
 議 題： ①座長の選任
 ②スマート制御付きトランク「ダイモトランクプレミアム」
 事後評価および活用促進技術の指定
 ③令和5年度推奨技術の選定結果
 「急斜面法面等に適用できる草刈り技術」

雪氷部会関連

■ 令和5年度 第1回雪氷部会

月 日： 令和5年9月29日(金)
 場 所： 興和ビル10F 大会議室
 出席者： 八橋 雪氷部会長 雪氷部会委員14名
 議 題： ①「道路除雪施工の手引」の部分改訂について
 ②除雪機械オペレータに関する実態調査について
 ③除雪車の運転操作上達かんどころの
 中間報告について

■ 令和5年度 第2回雪氷部会

月 日： 令和5年10月10日(火)
 場 所： 書面開催
 議 題： ①除雪機械オペレータに関する実態調査について
 とりまとめについて(意見紹介)

■ 令和5年度 妙高市除雪作業に関する安全講習会

月 日： 令和5年10月30日(月)
 場 所： 妙高勤労者研修センター
 派遣者： 穂苅 技師長
 受講者： 79名

■ 令和5年度 関東甲信地区道路除雪講習会

月 日： 令和5年11月1日(水)
 場 所： 機械振興会館+オンライン講習
 派遣者： 穂苅 技師長
 参加者： 対面講習11名、Web講習84名 計95名

■ 令和5年度 新潟市車道除雪オペレータ研修

月 日： 令和5年11月15日(水)
 場 所： 新潟テルサ 大会議室
 派遣者： 穂苅 技師長
 受講者： 61名

■ 令和5年度 専門課程施工企画(建設機械)国土交通省

月 日： 令和5年11月16日(木)
 場 所： 国土交通省 国土交通大学
 派遣者： 穂苅 技師長
 受講者： 20名

■ 令和5年度 第3回雪氷部会

月 日： 令和5年1月29日(月)
 場 所： 書面開催
 議 題： ③除雪車の運転操作上達かんどころの
 原案について(意見照会)

その他

令和5年度 支部事務局長意見交換会

月 日：令和5年4月17日(月)
場 所：機械振興会館B-3会議室
出席者：堤 事務局長
議 題：①各支部における好事例の共有
②地方整備局との意見交換会について
③その他

令和5年度 外国人技能評価試験(5月期)

月 日：令和5年5月25日(木)
場 所：CAT北陸教習センター(金沢市)

受検者	掘削(小)	掘削(大)	締固め
初級	5名	6名	5名
初級 学科のみ		6名	3名
初級 実地のみ			2名
専門級			8名
専門級 学科のみ	1名	2名	
専門級 実地のみ			10名

令和5年度 建設機械施工管理技術検定試験

月 日：令和5年6月18日(日)
場 所：朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)
受検者：1級:215名
2級:592名
1種: 42名
2種: 465名
3種: 9名
4種: 44名
5種: 15名
6種: 名

令和5年度 事務局長会議

月 日：令和5年7月28日(金)
場 所：機械振興会館 AB会議室
議 題：①旅費規定改訂等について
②情報セキュリティーについて
③令和4年度収支決算について
④建設機械施工管理技術検定について
⑤i-Constructionについて
⑥外国人評価試験について
⑦支部課題について

令和5年度 外国人技能評価試験(8月期)

受検者	掘削(小)	掘削(大)	締固め
初級	14名	6名	6名
初級 学科のみ	2名		2名
初級 実地のみ			
専門級		4名	2名
専門級 学科のみ			
専門級 実地のみ	3名	5名	
上級 実地のみ			2名

令和5年度 建設機械施工管理技術検定(第二次検定)

月 日：令和5年8月25日(金)～27日(日)
場 所：石川県小松市 コマツ教習所栗津センタ

	1級	2級
受検者：1級	39名	1種: 19名 2種: 14名 3種: 2名 4種: 4名
受検者：2級	144名	1種: 13名 2種: 117名 3種: 4名 4種: 10名

令和5年度 外国人技能評価試験(11月期)

受検者	掘削(小)	掘削(大)	締固め
初級	10名	9名	13名
初級 学科のみ			
初級 実地のみ			
専門級	2名		2名
専門級 学科のみ			
専門級 実地のみ	2名		
上級 実地のみ			1名

令和5年度 i-Construction施工説明者試験・更新講習

月 日：令和5年11月22日(水)
場 所：興和ビル10F 小会議室
試験人数：14名
更新講習：17名

令和5年度 建設機械施工技能実習評価試験 試験監督員研修会

月 日：令和5年11月30日(木)～12月1日(金)
場 所：施工技術総合研究所(CMI)
出席者：堤 事務局長 他2名
議 題：①実技試験(掘削作業(小・大)、締固め作業
採点演習
②技能実習評価試験の実施状況について
③2024年度の定期試験開催予定について
④評価試験の支部等提案議題について

令和5年度 秋期支部事務局長意見交換会

月 日：令和5年12月7日(木)
場 所：機械振興会館
議 題：①本部からの議題
②各支部からの議題について
③国土交通省の今後のサポートあり方

■ 令和5年度 外国人技能評価試験(1月期)

月 日： 令和6年1月17日(水)

場 所： CAT北陸教習センター(金沢市)

受検者：	掘削(小)	掘削(大)	締固め
初級	11名	6名	5名
初級 学科のみ	1名	2名	
初級 実地のみ			
専門級			
専門級 学科のみ			
専門級 実地のみ		1名	
上級 実地のみ			4名

■ 令和5年度 調査業務

北陸地方整備局北陸技術事務所及び東北地方整備局より、施工技術総合研究所主務で下記業務を受託。

穂苅 技師長及び堤 事務局長を担当技術者に配置

- 業務名： ①令和5年度除雪機械の情報化施工技術検討業務
(北陸技術事務所 R6.3.22まで)
②除雪グレーダの除雪装置自動化検討業務
(東北技術事務所 R6.3.18まで)
③令和5年度急傾斜法面等に適用できる草刈り技術評価検討業務(北陸地方整備局 R5.12.28まで)
④令和5年度路面消・融雪技術に関する検討・整理業務(北陸技術事務所 R6.3.25まで)

■ 令和5年度 外国人技能評価試験(3月期)

月 日： 令和6年2月29日(木)～3月1日(金)

場 所： CAT北陸教習センター(金沢市)

受検者：	掘削(小)	掘削(大)	締固め
初級	10名	8名	13名
初級 学科のみ	2名	1名	1名
初級 実地のみ			1名
専門級			
専門級 学科のみ			
専門級 実地のみ			
上級 実地のみ			



新刊技術図書のご案内

販売図書名	発行年月	非会員 販売価格 税込み(円)	会員 販売価格 税込み(円)	備考
◆道路除雪施工の手引	R5.10	4,950	3,960	除雪機械技術の向上、安全管理の重要性等の状況を踏まえ、除雪講習会の受講者に対応した構成内容が求められていることからR3全面改訂、R4・R5一部見直し
◆令和5年度版 建設機械等損料表	R5.5	9,680	8,228	国土交通省“建設機械等損料算定表”的内容に準拠 ・機械経費・損料等に関する通達・告示等を掲載 ・燃料・電力消費率を掲載
◆令和5年度版 橋梁架設工事の積算	R5.5	12,100	10,285	別冊 橋梁補修補強工事 積算の手引きをセット
◆情報化施工の基礎 ～i-Constructionの普及に向けて～	R3.1	2,200	1,870	大学や高等専門学校の学生が情報化施工の知識を一通り身につけて社会に出てくれることを目指し、学校教育で活用してもらえるテキスト
◆よくわかる建設機械と損料2022	R4.5	6,600	5,610	R4 建設機械等損料表 解説書
◆令和4年度版 大口径岩盤削孔工法の積算	R4.5	6,600	5,610	
◆令和元年度版 建設機械整備 標準作業工数表(除雪機械編)	R1.7	8,800	6,600	・排出ガス対策規制強化による機械の見直し ・除雪グレーダの機種統合 ・除雪ドーザの生産中止や事業譲渡による見直し

令和6年度の主な行事予定

行事予定	実施予定	開催場所
●令和6年度 北陸支部通常総会	R6.5.22	東映ホテル
●令和6年度 建設機械施工管理技術検定試験 (第一次検定、第二次検定(筆記))	R6.6.16	朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)
●令和6年度 建設機械施工管理技術検定試験 (第二次検定(実技))	R6.8下旬	石川県小松市コマツ教習所(栗津センター)
●令和6年度 建設技術報告会	R7.1	WEBオンデマンド配信
●令和6年度 除雪機械安全施工技術講習会	R6.10上旬～下旬	新潟県5会場、富山県1会場、石川県1会場
●ゆきみらい2025in上越(仮称)除雪機械展示・実演会	R7.1下旬～2上旬	リージョンプラザ上越
●令和6年度 外国人技能評価試験(学科及び実技試験)	R6.5、R6.8、R6.11、 R7.1、R7.3の5回	CAT北陸教習センター(金沢市)

会員情報

令和5年度 会員数および新入会員

1. 令和6年2月末日の会員数(業種別)

業種別	会員数
製造業	16社
建設業	66社
商事会社	1社
機械整備業	27社
レンタル業	6社
その他の	14社
計	130社

2. 令和5年度の新入会員

△	会社名	指定代表者名	住所	入会日	業種	電話番号	FAX
1	佐藤工業株 北陸支店	執行役員支店長 川島 康広	富山市桜木町1-11	令和5年8月7日	建設業	076-439-0360	076-442-7076
2	(株)ワイス	代表取締役 福澤 直樹	長野市三輪1-8-14	令和5年9月22日	その他	026-266-0710	026-266-0845

編集後記

令和6年の幕開けは、元旦の夕方の能登半島地震で開けました。
 被災された皆様には、お見舞いと一刻も早く日常が戻るようお祈りしています。
 さて、あかしや通信第42号を作成しましたのでお届けします。
 「あかしや通信」の記載内容については、主に支部事業の内容を記載させて頂いております。
 北陸支部においては、従来の事業に加えて、近年外国人技能評価試験やICT活用にかかる事業などが追加され 多忙となっていますので、会員の皆様方にはご迷惑をおかけすることもあるうかと思いますが、よろしくお願ひします。
 支部事業について、会員の皆様方のご感想やご意見をお寄せいただければ幸いです。

【広報委員長】



一般社団法人
日本建設機械施工協会北陸支部

〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル9F

TEL (025)280-0128

FAX (025)280-0134

E-mail : jcmahoku@beige.ocn.ne.jp

URL <http://jcma-hokuriku.info/>



「あかしや通信」は当協会のホームページからご覧できます。